



大草小学校だより

第9号

令和5年7月12日

校長 山口 隆

自然環境調査隊①

12日水曜日、長崎県環境アドバイザーの中原泰彦先生（イキシマカワリヌマエビという新種のヌマエビ発見者！県内外あちこちの学校で生き物を通じた環境調査をされています。）をお招きして、2，3，4年生が大草小周りの環境調査を行いました。

天候が許せば、川や海の生物を調べ、水質調査をする予定だったのですが、増水していることもあり、学校周りを歩きながら様々な生物の調査を行うことにしました。次々と見つかる生物の名前はもちろん、特徴を上手に解説してくださるので、子どもたちはもちろん、引率している私たちも引き込まれてしまいました。そんな中原先生さえ思わず写真にとり、



「3年ぶりに見ました。報告しなければ！」と興奮されていたのが下の写真の蝶です。

私たちには、葉っぱにしか見えなかったのですが、中原先生は一瞬で気づかれたのです。

ウスキシロチョウという蝶で、日本では沖縄本島以南にのみ生息し、まれに迷蝶として本土に飛来するそうです（迷蝶になるのはギンモン型）。風に乗って飛んできたのでしょうか。

私は小学校5年生のとき、夏休みの自由研究で昆虫採集をしました。その中の蝶の標本を見た詳しい保護者の方が、「珍しい」と熱心に調べてくださって、日本にはいない東南アジアにいる蝶だったことが分かり驚いた記憶があります。

何気なく飛んでいる蝶が実はすごい旅をしてきていることもあるのかもしれません。五ヶ原岳あたりに行けば、盛んに研究されているアサギマダラも見ることができるとも思いません。夏休みは自然を生かした学びにもチャレンジしてほしいと思います。

